

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

| | | | |
|-----------|---|------|---|
| 主管課名(担当名) | 社会福祉課(社会援護担当) | | |
| 事務事業名 | 地域福祉補助事業 | 事業番号 | 10078 |
| 重点プロジェクト | <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 | 評価時期 | <input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後 |
| | | 事務区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託 |

1 施策体系

| | | |
|----------|------|------------------|
| 施策体系との関連 | 施策区分 | 1-8 地域福祉の充実 |
| | 施策目標 | 地域で互いに助け合い支え合うまち |

2 事務事業の概要と目的

| | | |
|-----------------------------|---|----------|
| 対象 | 事務や事業が対象としている人や団体など | ボランティア団体 |
| | 対象者の今後の予想 | 減少 |
| 活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など) | 5団体5事業に対し補助 補助団体及び事業:社会福祉法人根室市社会福祉協議会(地域福祉ボランティアネットワークづくり事業)、社会福祉法人希望の家(ペットボトルキャップ回収分別破碎事業)、根室のより良い介護をめざす懇話会(介護福祉に関する普及・啓発事業)、根室市立光洋中学校(吹奏楽部福祉施設慰問演奏会事業)、根室ケアマネージャー連絡協議会(介護従事者向け研修事業) | |
| 意図 (どの様な成果を得ようとしているのか) | ボランティア活動などの体験を通じて地域福祉に関する意識の高揚を図り、地域全体で支え合う体制づくりを構築する。 | |

3 事務事業の現状

| 活動指標名 | 計画値(H27) | 実績値 | | | | | 目標値(H32) | 目標値(H37) | |
|-------------------------|----------|-----|-----|-------|-----|-------|----------|----------|--|
| | | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | | | |
| 1 補助団体数 | 5団体 | 5団体 | 4団体 | 4団体 | 5団体 | | 7団体 | 9団体 | |
| 2 | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | |
| 事業費(=下記内訳計) | | | | H30予算 | | H30決算 | | H31予算 | |
| | | | | 1,000 | | 597 | | 1,000 | |
| 内訳 | 国道支出金 | | | | | | | | |
| | 地方債 | | | | | | | | |
| | その他 | | | 1,000 | | 597 | | 1,000 | |
| | 一般財源 | | | 0 | | 0 | | 0 | |
| 人員(人工) | | | | 0.03 | | 0.03 | | 0.03 | |
| 職員人件費(=人員(人工)×7,679千円) | | | | 230 | | 230 | | 230 | |
| 総事業費(=事業費+職員人件費) | | | | 1,230 | | 827 | | 1,230 | |
| 単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値) | | | | 246 | | 165 | | | |
| 単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値) | | | | | | | | | |

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

| | |
|---------------|--|
| 見直し状況 | ■検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない □検討していない |
| 見直しの内容など | ボランティアセンター(根室市社会福祉協議会)と連携し、市民が気軽にボランティア活動に参加できるまちづくりを推進するため、ボランティア活動のきっかけづくり、人材養成活動支援、情報提供を行う。 |
| 今後の動向・市民ニーズなど | 高齢化に伴い、福祉ボランティアを必要とする対象者は増加傾向にあると考えられる。 |

5 事務事業の評価

| | |
|-----------------------------------|--|
| | ■結びついている □一部結びついている □結びついていない |
| ア. 意図する成果に有効に結びついていますか | 30年度においても、各ボランティア団体の活動に際し、補助金が有効に活用された。 |
| | ■可能 □一部可能 □不可能 |
| イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等) | 市においては補助事業の原資として「根室市地域福祉基金」を活用しているが、他の団体においても、同様の原資があり、かつ地域福祉事業に対し助成する制度があれば、補助は可能である。 |
| | □ある ■一部ある □ない |
| ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか | 補助率の引き上げ(現行3/4以内) |
| | □ある □一部ある ■ない |
| エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか | 計画では補助団体数の増加を目標としており、全体の事業費を削減することは困難である。 |
| | □ある □一部ある ■ない |
| オ. 他の事業との統合について可能性がありますか | 現時点では、他に統合できる事業はないと思われる。 |
| | □ある □検討の必要性がある □ない ■既に負担がある |
| カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか | 補助率は補助対象経費の額に4分の3を乗じて得た額以内としており、4分の1が受益者負担となっている。 |

6 事務事業の今後の方向性

| | |
|--------|---|
| 今後の方向性 | ■現状のまま継続 □見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (H 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了 |
|--------|---|

作成年月日

令和元年6月